

2010年12月期第2四半期 決算補足資料



株式会社アイフィスジャパン



2010/8/2



計画

連結売上高 1,500百万円 (前年同期比 +0.7%)

連結営業利益 15百万円 (前年同期比 -67.1%)

連結経常利益 30百万円 (前年同期比 -37.1%)

連結当期純利益 10百万円 (前年同期比 -31.1%)

1株当たり当期純利益 199円72銭

実績

連結売上高 1,357百万円 (計画比 -9.5%)

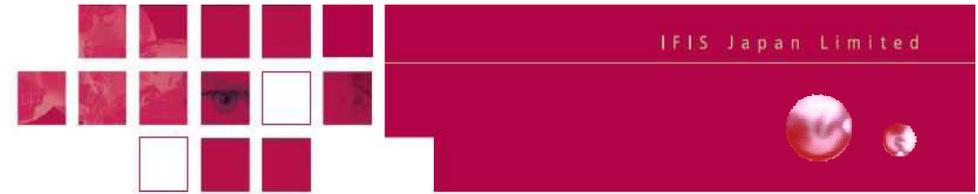
連結営業利益 23百万円 (計画比 +56.8%)

連結経常利益 34百万円 (計画比 +14.4%)

連結当期純利益 17百万円 (計画比 +78.1%)

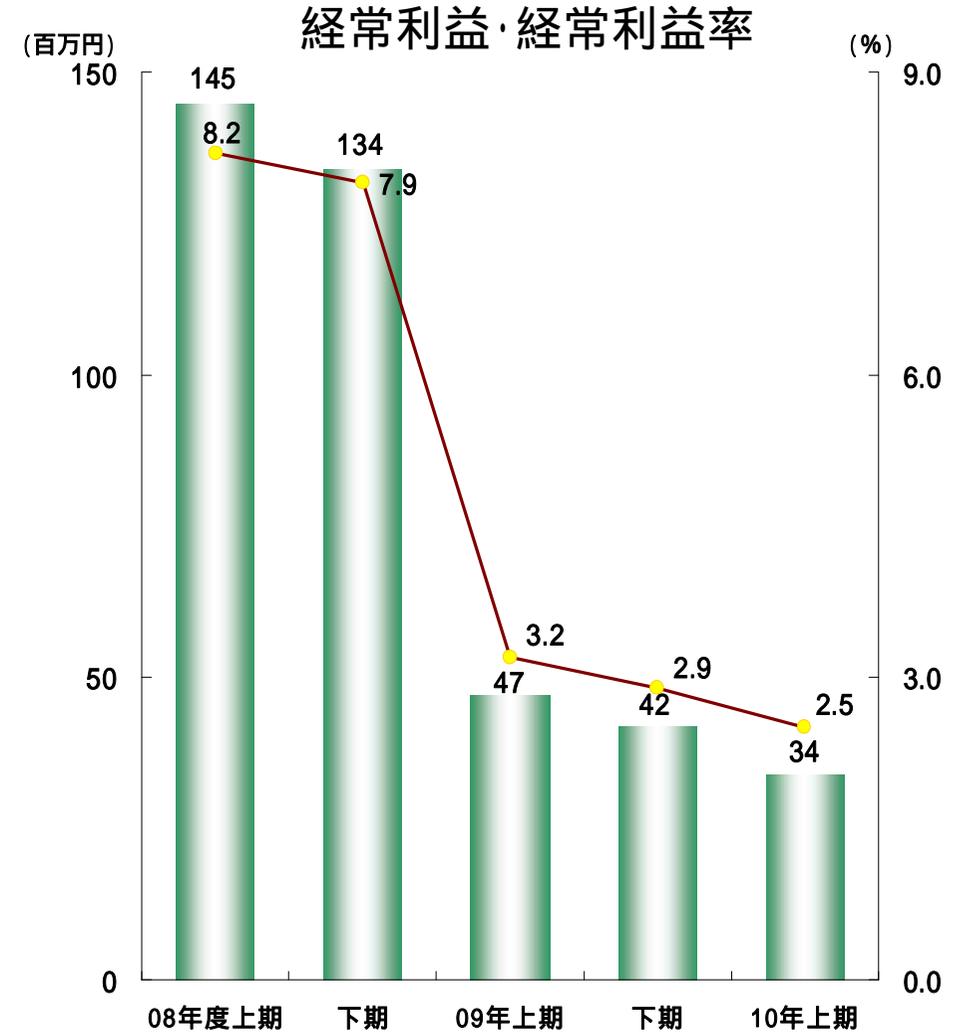
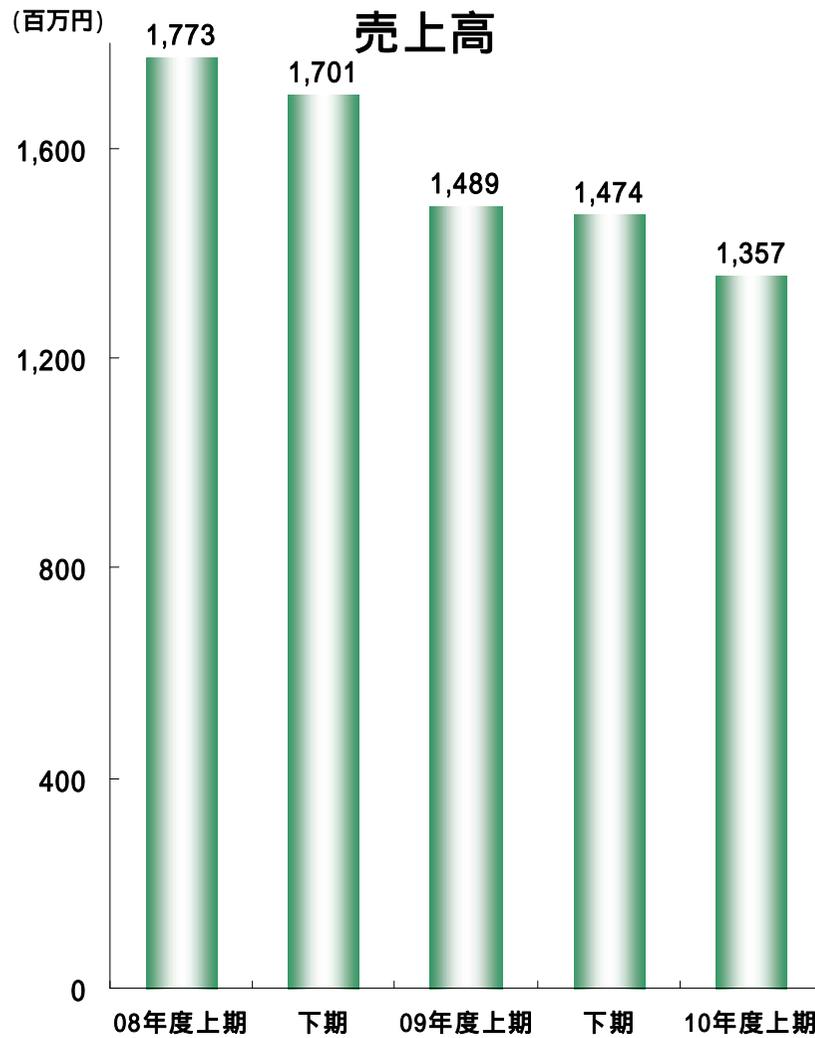
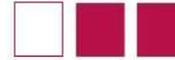
1株当たり当期純利益 356円33銭

2. 前年同期との業績比較

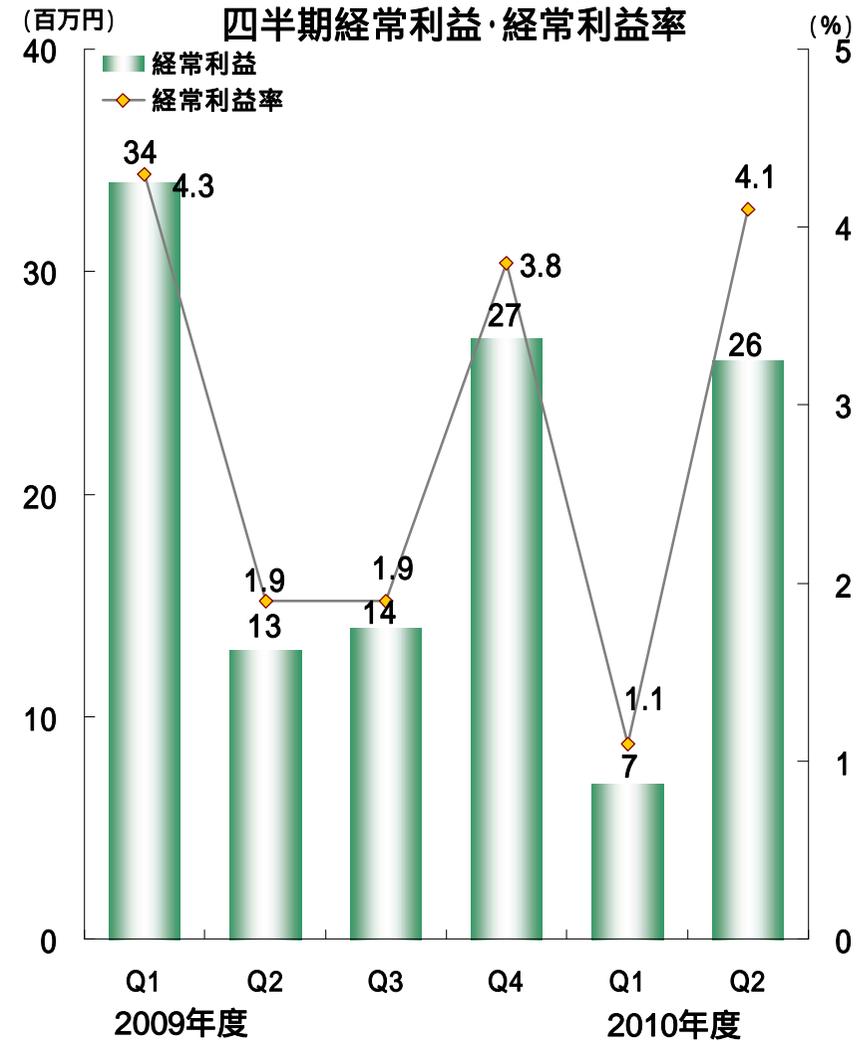
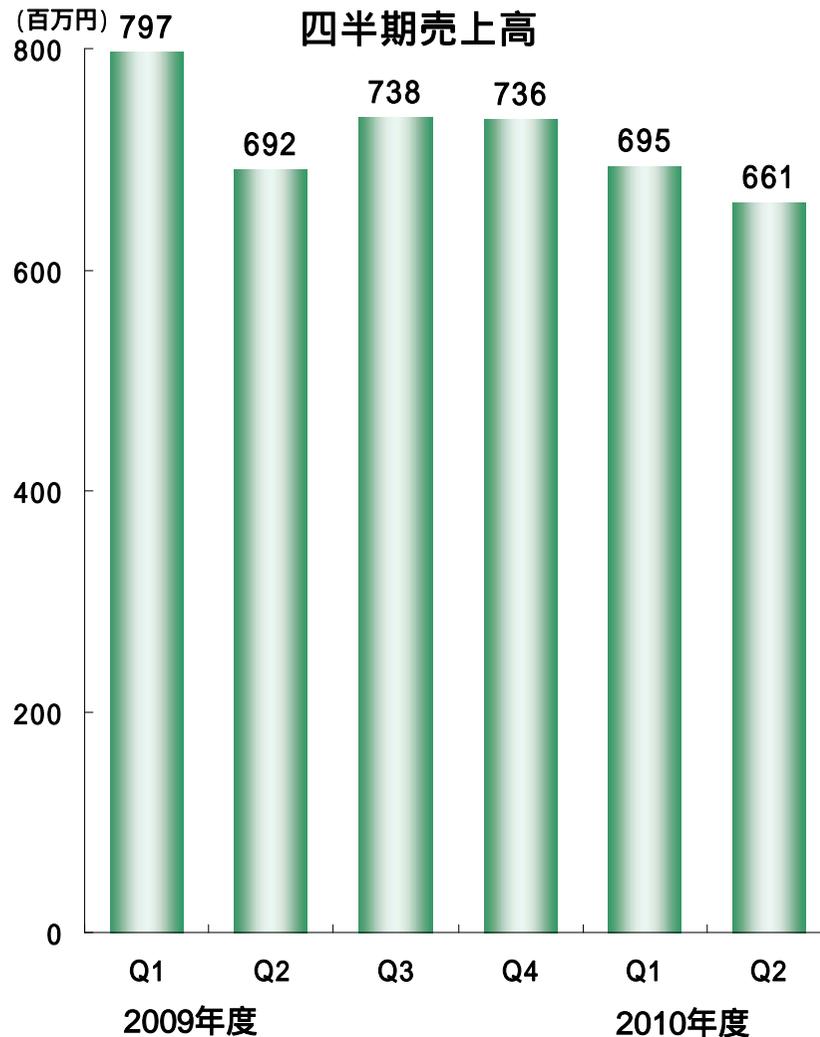


| | 項目 | 2009年12月期 第2四半期 | 2010年12月期 第2四半期 | 前年同期比 |
|-----------|---------------|--------------------|--------------------|---------|
| 四半期連結累計期間 | 売上高(百万円) | 1,489 | 1,357 | - 8.9% |
| | 営業利益(百万円) | 45 | 23 | - 48.4% |
| | 経常利益(百万円) | 47 | 34 | - 28.0% |
| | 当期純利益(百万円) | 14 | 17 | + 22.7% |
| | 1株当たり当期純利益(円) | 284.40 | 356.33 | — |
| 四半期連結会計期間 | 売上高(百万円) | 692 | 661 | - 4.4% |
| | 営業利益(百万円) | 12 | 25 | +106.6% |
| | 経常利益(百万円) | 13 | 26 | +105.5% |
| | 当期純利益(百万円) | 1 | 18 | +989.5% |
| | 1株当たり当期純利益(円) | 33.87 | 377.80 | — |

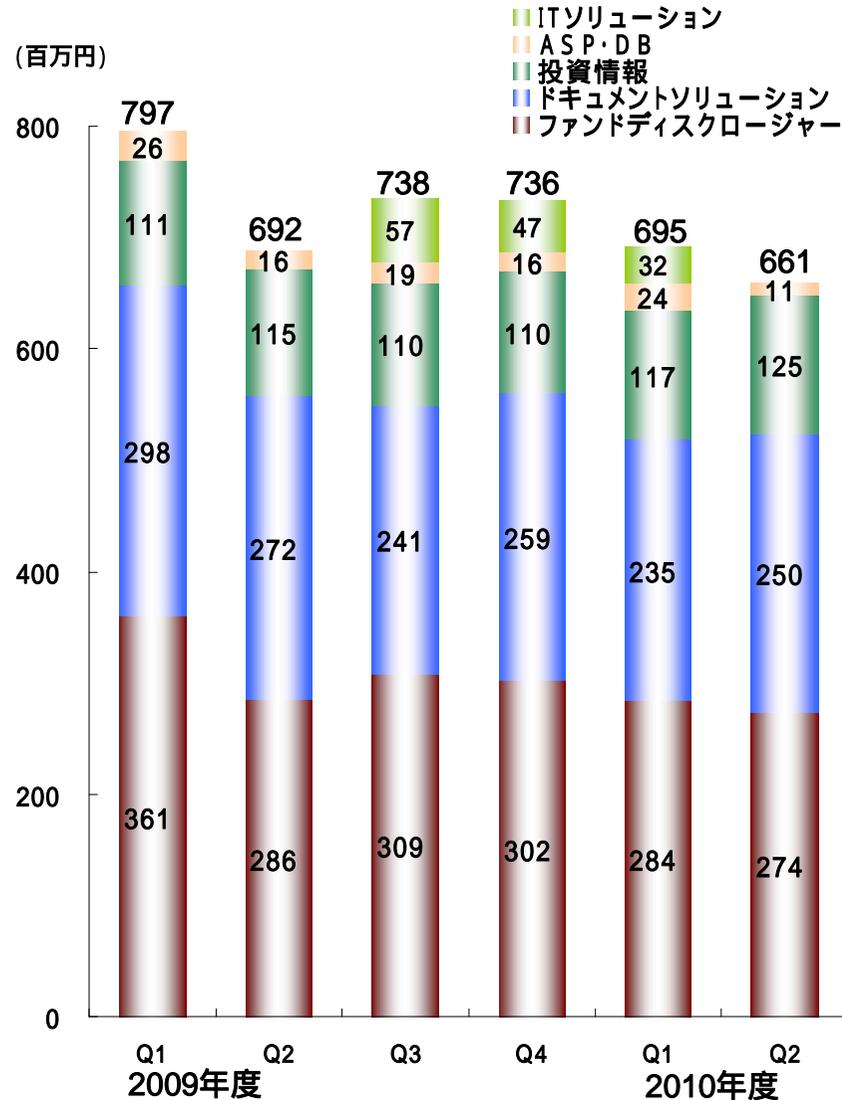
3. 四半期累計売上高・経常利益の推移(連結)



4. 四半期売上高・経常利益の推移(連結)



5. 事業部門別売上高の推移 (連結)



2010年12月期第2四半期会計期間 事業部門別売上高

◆ 投資情報事業

125百万円 (前年同期比 +8.2%)

◆ ドキュメントソリューション事業

250百万円 (前年同期比 -8.2%)

◆ ファンドディスクロージャー事業

274百万円 (前年同期比 -4.2%)

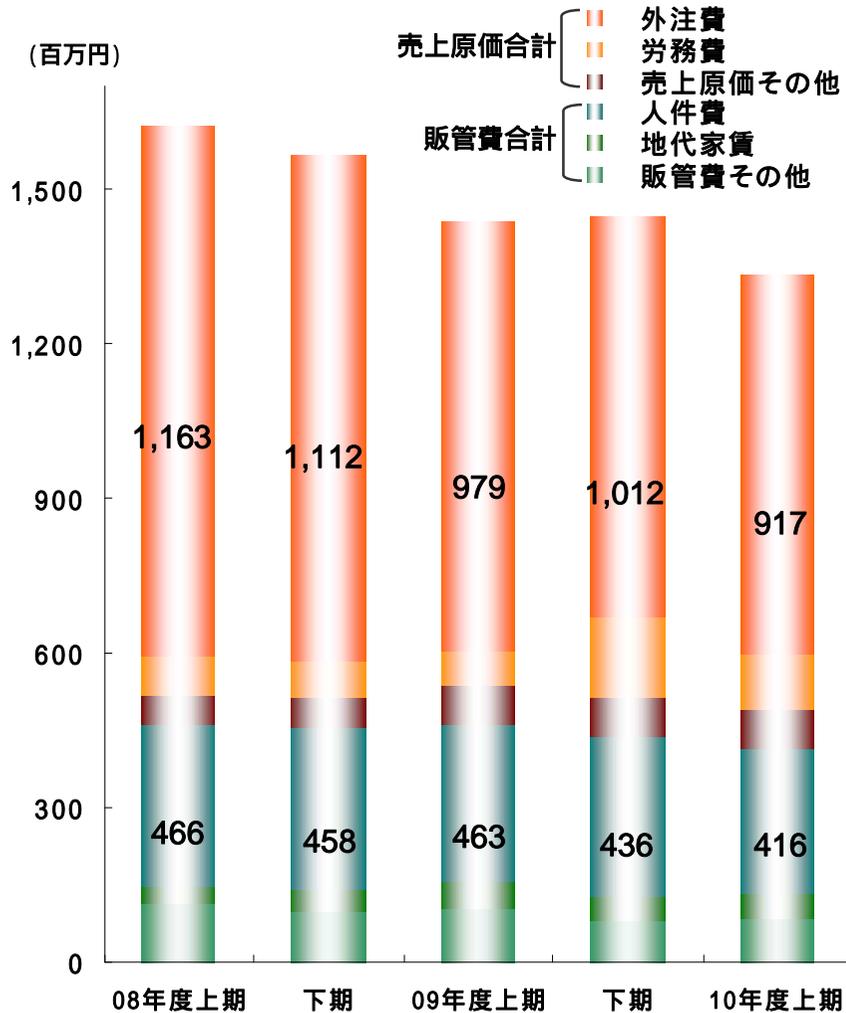
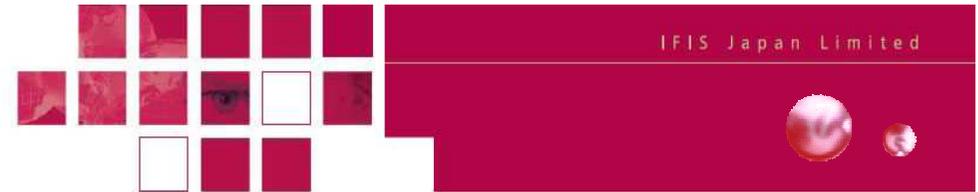
◆ ASP・DB事業

11百万円 (前年同期比-31.4%)

◆ ITソリューション事業

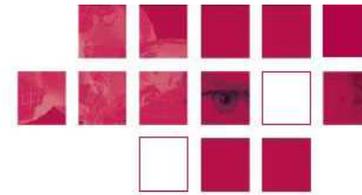
2010年3月30日付けで株式会社ヴィオとの資本関係を解消したため、当セグメントでの売上高は発生しておりません。

6. 費用構成の推移(連結)



単位:百万円

| 項目 | 2009年12月期 第2四半期 | 2010年12月期 第2四半期 | 前年同期比 |
|--------|--------------------|--------------------|--------|
| 売上原価合計 | 979 | 917 | -6.4% |
| 外注費 | 835 | 731 | -12.5% |
| 労務費 | 69 | 112 | +60.9% |
| その他 | 74 | 74 | -0.90% |
| 販管費合計 | 463 | 416 | -10.3% |
| 人件費 | 307 | 281 | -8.7% |
| 地代家賃 | 48 | 48 | -0.0% |
| その他 | 107 | 86 | -19.4% |



単位: 百万円

| 項 目 | 2009年12月期 第2四半期 | 2010年12月期 第2四半期 |
|------------------|--------------------|--------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 124 | 104 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 80 | 46 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 25 | 36 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,024 | 1,038 |

2010年12月期第2四半期の分析

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

収入: 税金等調整前四半期純利益(33百万円)、減価償却費(73百万円)、法人税等還付額(43百万円)

支出: 仕入債務の減少額(25百万円)

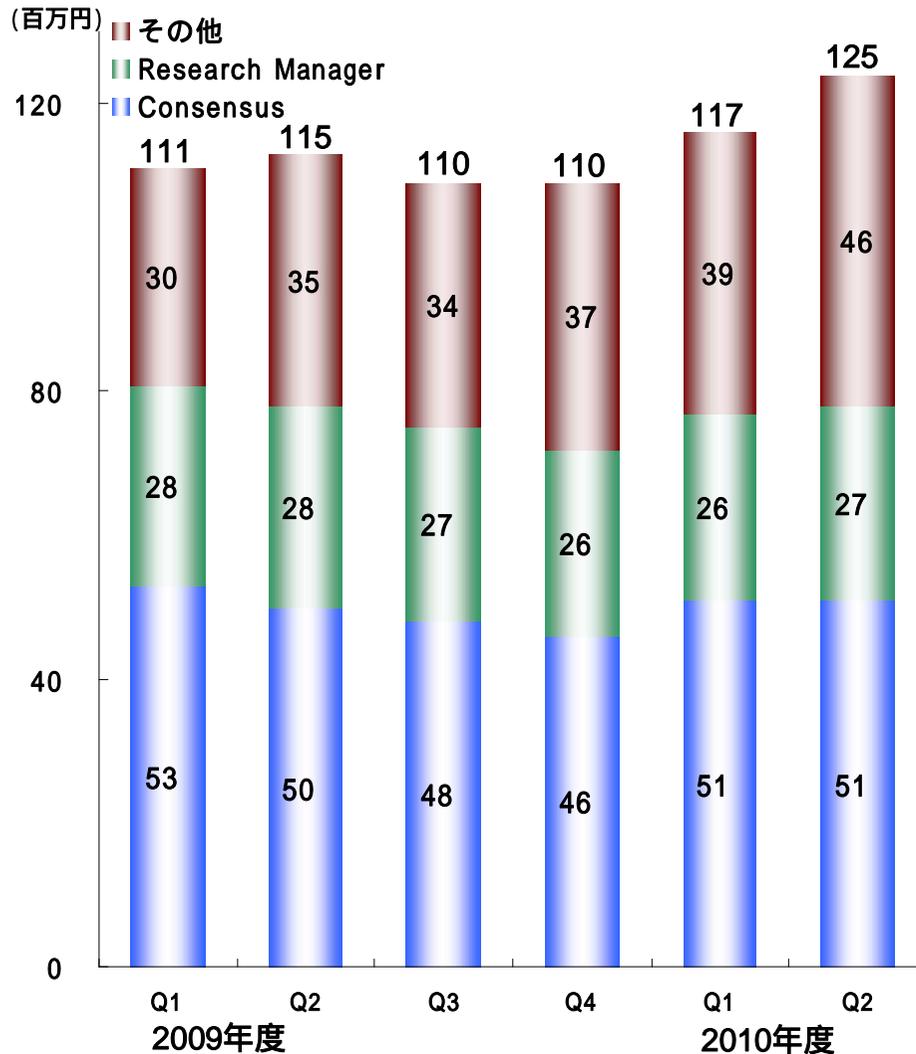
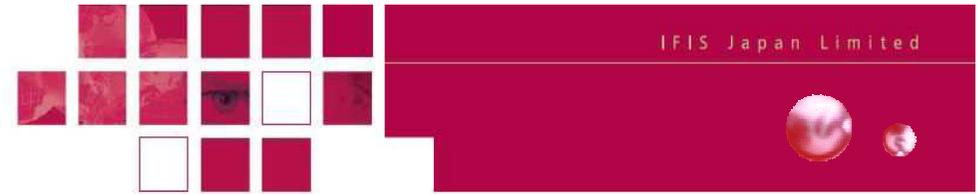
【投資活動によるキャッシュ・フロー】

支出: 無形固定資産の取得(13百万円)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却(27百万円)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

自己株式の取得(11百万円)、配当金の支払額(25百万円)

8. 投資情報事業売上構成



2010年12月期第2四半期会計期間
投資情報事業売上構成

◆ Research Manager

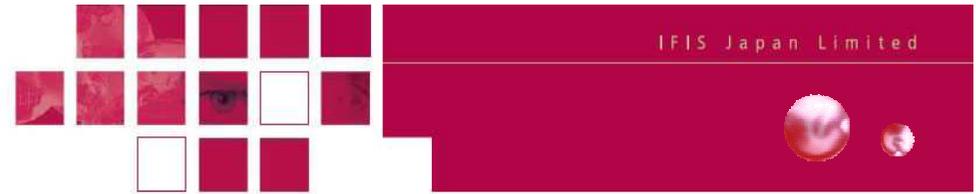
27百万円(前年同期比 -4.1%)

◆ Consensusビジネス

51百万円(前年同期比 +0.6%)

◆ その他

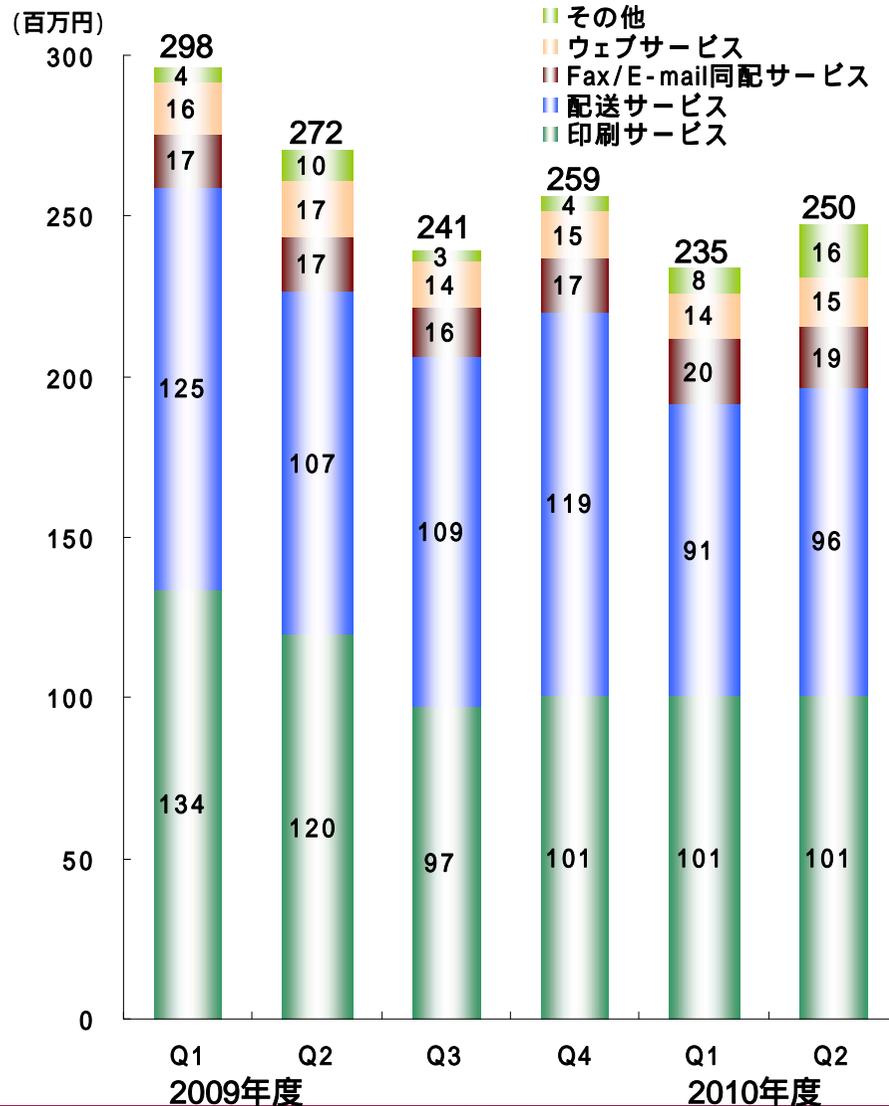
46百万円(前年同期比 +28.7%)



- ◆ 安定してユーザーを確保しているウェブサービスに加え、『IFIS株予報』やキャピタル・アイ発行の資本市場年鑑において広告サービスを開始
- ◆ 2010年3月27日より楽天証券ユーザーへ「IFIS Consensus」を核とした投資情報コンテンツの提供開始



- ◆ 個人投資家市場での「IFIS Consensus」の認知度向上と広告サービス拡大による相乗効果が見込まれる
- ◆ キャピタル・アイが提供する機関投資家向けサービス『キャピタルアイ・ニュース』は拡大基調にあり、設立以来初めての通期黒字となる見通し



2010年12月期第2四半期会計期間 ドキュメントソリューション事業売上構成

- ◆ 印刷サービス
101百万円 (前年同期比 -15.3%)
- ◆ 配送サービス
96百万円 (前年同期比 -9.7%)
- ◆ Fax/E-mail同報配信サービス
19百万円 (前年同期比 +12.1%)
- ◆ ウェブサービス
15百万円 (前年同期比 -11.7%)
- ◆ その他
16百万円 (前年同期比 +60.6%)

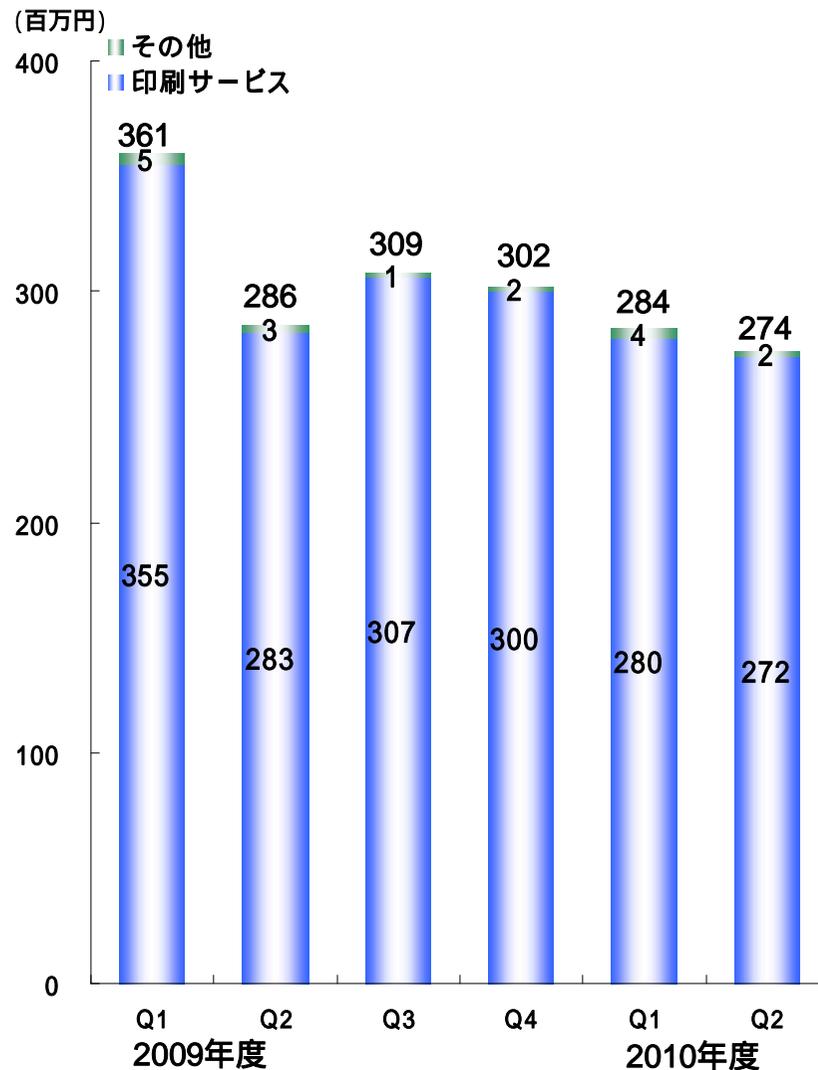
- ◆引き続き金融市場は底ばい状況にあり、金融機関の営業活動や上場企業のIR活動は低調に推移している



- ◆当事業区分の主要なサービスである印刷・配送需要は低迷しており、今後も減少傾向が続くものと見込まれる



- ◆新たなサービスを織り交ぜることにより需要の掘り起こしを行なう
 - ・E-mail一斉同報配信サービス『IFIS imail』
 - ・連結子会社である株式会社アイコスの翻訳サービス



2010年12月期第2四半期会計期間

ファンドディスクロージャー事業売上構成

◆ 印刷サービス

272百万円 (前年同期比 -4.1%)

◆ その他サービス

2百万円 (前年同期比 -11.4%)

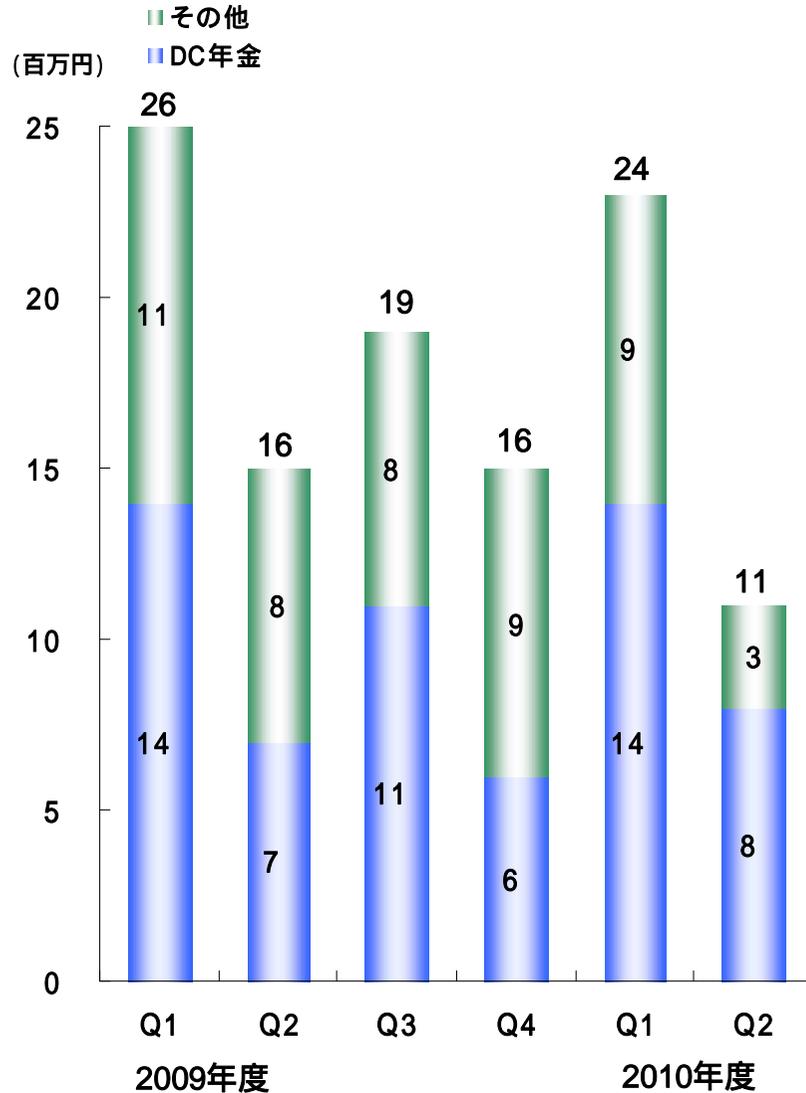
- ◆ 投資信託市場は2010年4月に契約型公募投資信託の純資産総額が65兆円を超えるなど、2009年以降の環境は良好である



- ◆ インターネット販売のみの商品が増加するなど電子化が進み、目論見書などのディスクロージャー資料の印刷需要は減少傾向を続けている



- ◆ 運用報告書市場の開拓や、当社のIT技術を絡めた投資信託販売会社向け販売支援ツールの開発など、新たな商材で巻き返しを図る



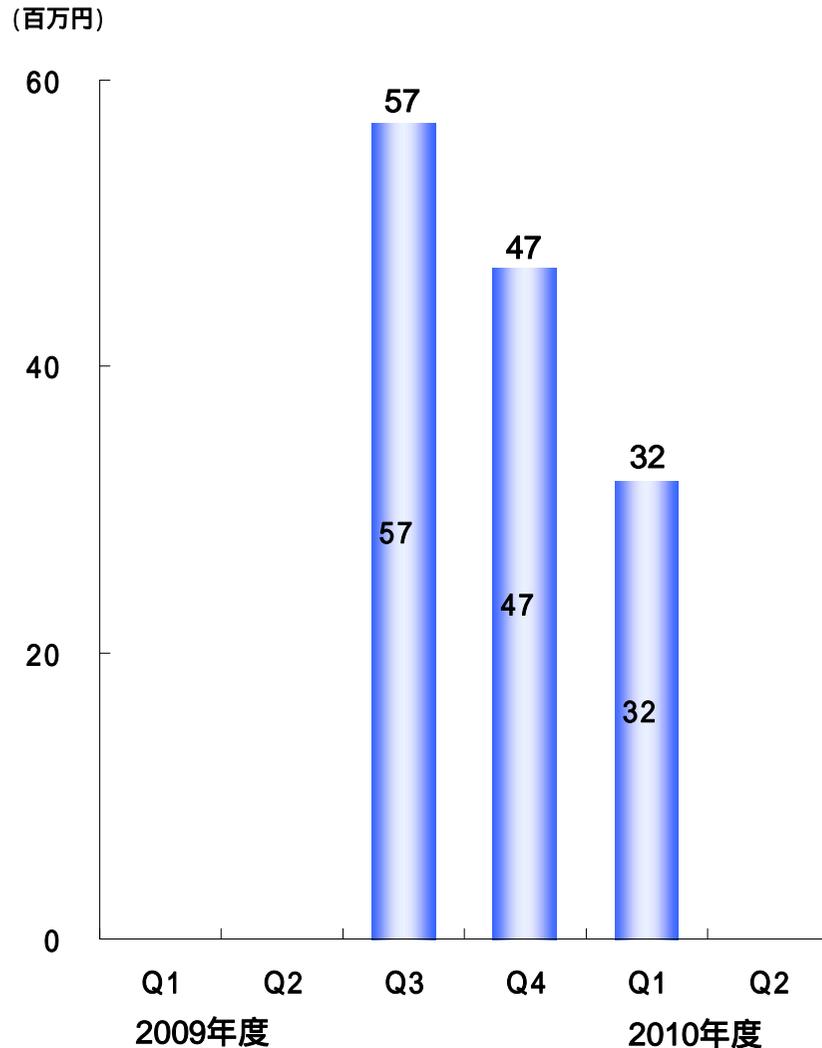
2010年12月期第2四半期会計期間 ASP・DB事業売上構成

- ◆ DC年金
8百万円 (前年同期比 +1.7%)
- ◆ その他
3百万円 (前年同期比 -62.4%)

ASP・DB事業の状況

- ◆ 大手確定拠出年金運営機関向けサービス、投信データベースサービスは安定している一方、J-REIT関連サービスは減少傾向

- ◆ サービスを絞り込み安定運用を行う

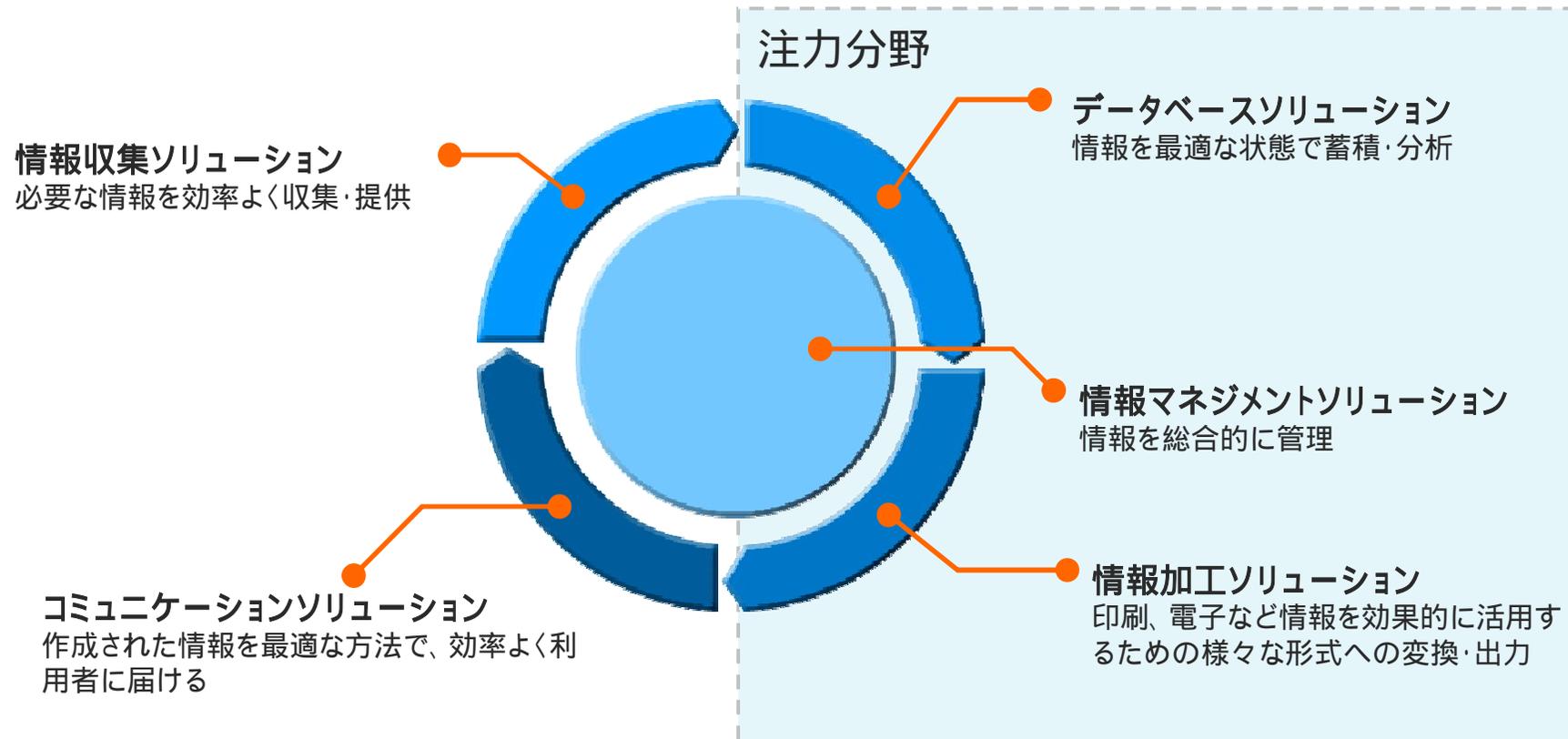


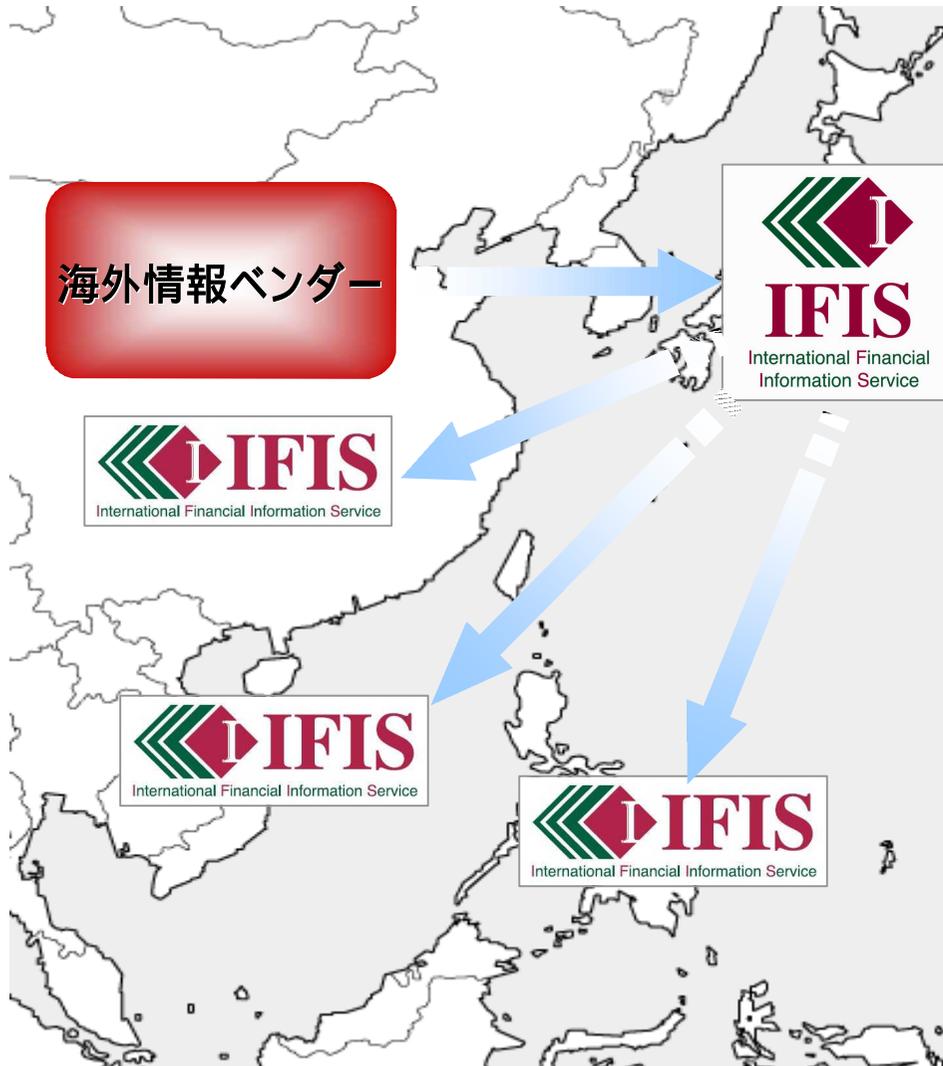
2010年12月期第2四半期会計期間 ITソリューション事業売上構成

当事業区分は2009年12月期第2四半期連結会計期間に連結子会社化した株式会社ヴィオによる事業であり、2009年12月期第3四半期より新事業区分となりました。

しかしながら2010年3月30日付で同社との資本関係を解消したことから当第2四半期会計期間における売上高は発生しておりません。

金融情報サービス、ドキュメントソリューションでの豊富な実績を持つ当社のIT部門を中心に展開し、情報、ドキュメントに続く第3の柱に育てる





- ◆ 中国をはじめASEAN諸国の海外情報ベンダーとの提携により、海外金融情報の日本でのサービス展開を図る (Wind社との提携は第一段)
- ◆ 海外事業所に当社のノウハウを提供し、現地でIFISビジネスを展開
- ◆ 海外事業所に当社データ処理のオペレーションの一部を委託し業務効率化を図るほか、将来的にはオフショアでのデータ処理、システム開発などの可能性を検討

| | 項目 | 前回予想 | 今回修正予想 | 増減率 |
|----|---------------|----------|----------|---------|
| 連結 | 売上高(百万円) | 3,200 | 2,600 | - 18.8% |
| | 営業利益(百万円) | 135 | 90 | - 33.3% |
| | 経常利益(百万円) | 150 | 100 | - 33.3% |
| | 当期純利益(百万円) | 90 | 60 | - 33.3% |
| | 1株当たり当期純利益(円) | 1,797.48 | 1,203.42 | — |
| 個別 | 売上高(百万円) | 2,400 | 2,100 | - 12.5% |
| | 営業利益(百万円) | 150 | 100 | - 33.3% |
| | 経常利益(百万円) | 160 | 100 | - 37.5% |
| | 当期純利益(百万円) | 90 | 50 | - 44.4% |
| | 1株当たり当期純利益(円) | 1,797.48 | 1,002.85 | — |

【修正理由】

2010年7月からの新目論見書制度開始により、ファンドディスクロージャー事業の売上、利益の減少が見込まれることに加え、株式会社ヴィオとの資本関係解消による売上の減少によるものです。